



『もっと老上、ずっと老上』

This is OIKAMI.学校教育目標 **学びをひろげ 心ゆたかに 人とつながろう**

(学校だより、学年通信・ほけんだより、行事予定、下校時刻などは老上小学校HPでご覧になれます)

「信頼される」から「信頼し合える」学校づくりをめざして

過日、4年生のあるクラスで道徳科の授業をしました。指導のねらいは、「友だちと互いに信頼し、助け合おうとする心情を育てる」でした。

今月は、担任が子どもとの「教育相談」を行い、学校全体としては「いじめ防止強化月間」の取組を進めています。私ができることの一つとして、授業を通して、子ども同士が友情の大切さを意識する時間になることを願い、授業を進めました。

ただ、「信頼」という言葉の意味は、子どもにとって理解が容易いものではありません。どこまで教材を理解し、日常生活にどれだけ目を向けて考えられるかと気にしながら、学習中の子どもの発言や学習後の道徳ノートの記述に注目しました。すると、子どもたちは、信頼し合える友達について、「何でも話せる人」「うそをつかない友達」「自分の気持ちをよくわかってくれる友達」「自分を信用してくれる友だち」「寄り添ってくれる友だち」「甘えられる友達」「助け合える友達」などと捉えることができていました。しっかりと考えられる子どもたちであることに感心しました。

年度初めの学校だよりで、私は保護者さんや地域の皆さんに「信頼される学校づくりをめざします。」と伝えました。そのために校長は学校経営方針を示し、担任は日常の授業において子どもが「できた」「わかった」の喜びを体感する授業を行い、保護者さんには、懇談や電話連絡、通信等において、指導のあり方や子どもの様子を伝えています。ただ、時に十分とは言えない伝わり方があり、お叱りや相談をいただくこともあります。学校は、保護者の皆さんからの声を真摯に受け止め、丁寧に対応をすることを今後も努力していきます。



一方で学校は、子どもや保護者さんを信頼して教育活動を進めたいという願いを持っています。子どもへの指導や教育活動に対する理解を得られていることと信じています。「学校は何をしているの?」「親は?」と責任を押し付けるのではなく、今できていることや頑張っていることを喜び合える関係でありたいと思います。

「信頼し合える関係」は、互いを理解し、相手に寄り添う関係を築くことと再認識した45分の学習でした。

あたりまえって何? 普通って何?

「信頼し合える関係づくり」の話ともつながりますが、「こんなことでできてあたりまえなのに、なぜできない(やらない)のだろう?」「普通は〇〇なのに、わかってないなあ。」と、自分の中のあたりまえが思い通りにいかない時や、相手が期待する行動をしないときに、悲しくなったり、不思議に思ったり、時にはいらいらしたりすることがあります。みなさんはどうですか?

これは、子どもの指導においても、大人同士の関係においても起こり得る心のすれ違いです。そんな時、私はまず自分が冷静になって自分の言動をふりかえることや、相手の言動を悪く脚色することなく、客観的に判断してくれる人に話を聞いてもらうようにしています。また、時間をかけて相手と話し合うことで、互いが理解を深める(折り合いをつける)ようにすることにも努めています。よく使われる言葉ですが、「自分のものさし」の基準を人に押し付けないように気をつけていきたいと思っています。

7月上旬～夏休みにかけての行事予定

※今年度から水曜日の下校時刻は14:30分です

日	月	火	水	木	金	土
7/3	4 全校5校時日課	5	6	7 じんけんの日	8	9
10	11 全校5校時日課	12 全校5校時日課	13	14 給食最終日 全校4校時日課	15 全校4校時日課	16
17	18 海の日	19 全校4校時日課	20 1学期終業式 大掃除 全校3校時日課	21 夏季休業日 スタート	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	8/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10 夏季集中休暇	11 山の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 2学期始業式 大掃除 3校時日課	

子どもたちの頑張りに拍手を贈ります。

4日（土）、晴天のもと運動会を開催しました。

今年度は、残暑の中で練習に取り組むことによる熱中症のリスクを避けることや、年度初めの学級・学年づくりとしてのつながりを築くことを主な目的として、これまでの時期を変更して実施しました。

運動会当日、子どもたちは団体演技や徒走において、練習の成果を精一杯発揮しました。一人ひとりが全力を振り絞って走る姿や息を合わせた演技の美しさを目にした時、思わず胸が熱くなったのは私だけではないと思います。子どもたちもきっと、やり切った満足感を得たに違いありません。そして、チームワークの大切さを実感してくれたことでしょう。

運動会は、走りに長ける子どもが活躍する場でもありますが、そうでない子にとってもその子のがんばりが認められる場になることを、私たち教員は強く意識して指導してきました。その思いが子どもたちに伝わっていることを信じています。

たくさんの保護者の皆様に応援いただくことができ、子どもたちにとっても大いに励みになりました。ありがとうございました。



市内小中学校講師：募集のお知らせ

市内の小中学校では講師を探しています。自薦、他薦は問いません。市内小中学校の勤務をお願いできる方の情報を本校あてお知らせください。